

令和元年度 小値賀小学校 校内研修

【研究テーマ】 主体的・対話的で深い学びの視点を生かした授業改善 ～考え、議論する道徳科の授業づくり～

小値賀小学校では、小中高一貫教育の研究と道徳科の授業研究に取り組んでいます。令和元年度は、研究テーマを「主体的・対話的で深い学びの視点を生かした授業改善 ～考え、議論する道徳科の授業づくり～」と設定して、授業力向上に努めています。

研究を通して、小値賀小学校に研究の足跡がしっかりと刻まれること、教職員の指導力向上を目指して頑張っています。

道徳科の授業づくりにおける共通理解

- (1) 毎時間、『第〇回道徳』を板書する。
- (2) 毎時間、めあてを板書する。
- (3) 毎時間、めあてに対するまとめを行う。
※まとめは、深い学びを実現するために「納得解」まで高められるように授業改善を行っていく。
- (4) 道徳の時間の約束の教室掲示

道徳の時間の約束

- ①自分の考えをもつ。
- ②友だちの考えを
しっかり聞く。
- ③自分の考えはいつでも
変えてよい。

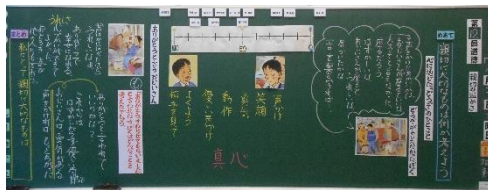
また、変えた理由を
言えること。

考え、議論する道徳科チェックリストの作成

深い学びの視点		対話的変視点		主体的変視点	
①	②	③	④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
㉛	㉜	㉝	㉞	㉟	㊱
㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷
㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽
㊾	㊿				

授業改善のポイントや手立てを具体的にすることで、子どもたちにとって分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。

また、教職員同士が授業を参観する際、同じ視点をもって授業を見たり研究協議したりすることで、指導力向上に努めています。



道徳の授業参観の実施&研究授業

本年度は、職員全員が研究授業を行いました。授業を見せ合うことで、質の高い道徳科の授業展開に取り組んでいます。

小値賀小学校の児童は、道徳の時間に自分の考えをしっかりと書けたり、発表したりすることが得意なことになりました。

